

令和3年3月8日



18th JAPAN YARN FAIR & 総合展「THE 尾州」開催結果



～ リアル展示会開催情報 ～

(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター(FDC)では、2月17日から19日まで、一宮市総合体育館において「18thJAPAN YARN FAIR & 総合展『THE 尾州』」を開催いたしました。

来場者数を含めた開催レポートをお知らせいたします。

なお、コロナ対策として実施した「総合展『THE 尾州』ONLINE」は、尾州総合情報ポータルサイト「BISHU-JAPAN.com」の情報と併せ、「FDC コロナ対策オンライン化事業」として、別途お知らせいたします。

○開催概要

会 期：令和3年2月17日(水)～19日(金)(午前10時～午後5時)

会 場：一宮市総合体育館

来場者数：1,667名(ビジネス1,457名、一般・学生210名)

※前回5,365名(ビジネス3,794名、一般・学生1,571名)

○開催レポート

(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター(FDC)は、2月17日から19日まで、一宮市総合体育館にて、18thJAPAN YARN FAIR(以下「JY」)&総合展「THE 尾州」を開催した。

FDCは、リアルでの展示会開催にあたり、感染予防対策として、総合体育館正面入口にサーマルカメラを設置し、入場者の検温を行い、入場証として使用する名札ホルダーの使い回しも廃止した。また、換気のため入口や窓を開放し、消毒液や感染予防を呼び掛ける看板を各所に設置した。

JYの出展企業ブースに関しては、出展ブース脇にバックヤードを設け密集を避ける配置を取った。また、いちい信金アリーナBを商談スペース・休憩スペースとし、各テーブルに飛沫防止の仕切りを設置し、人の分散を図った。

新型コロナウイルスの影響が影を落とす中、出展企業数は、22社1団体(昨年56社・2団体)と大幅に減少した。来場者からは「出展企業が減ってさびしい」との声が聞こえた一方「人が少ない分、時間をかけて商談ができた」「ブース間のソーシャルディスタンスがしっかり保たれていて安心できた」といった意見があった。他県から出展したメーカーからは「尾州産地の新しい顧客に数多く来場してもらえた」との声も聞かれた。会場には、コロナ禍での展示会への不安がありながらも、新しい素材や技術を求める来場者と、それに応じる出展企業各社との間で活発な商談が行われ、「コロナを理由にもつくりを停滞させたくない」「尾州産地のランドマーク的イベントとして来年以降も継続して開催してほしい」など、今後の地場産業に対する切実な声が数多く寄せられた。

会期中に1,667名（内ビジネス関係者1,457名、一般・学生210名）が来場した。

ビジネス関係の来場者は1,457名で前回の3,794名と比べ2,337名の減少となった。

ビジネス関係来場者の内訳は、愛知（55%【内一宮市34%】）、岐阜（16%）の尾州産地を中心とした両県で71%を占める一方、東京（5%【昨年8%】）、関西（19%）と、特に都心からの来場者の割合が少なかった。また、業種ごとの内訳はテキスタイルメーカー31%、問屋・商社26%、アパレル・小売7%、その他繊維企業・団体学校行政等・他業種企業36%となっている。

また、展示会2日目に、積雪に見舞われたことも来場者減少の一因となった。

ビジネス目的以外の来場者である一般市民・学生に関しては、210名と昨年の1,571名を大幅に下回った。これは、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、昨年まで実施していたオープニングセレモニー、ジャパン・テキスタイル・コンテスト（JTC）表彰式、布地や地場産品を販売する布の市、地場産品PR販売コーナーや翔工房のファッションショーなど、3密のリスクが懸念される催事を概ね中止したことによる。なお、オープニングセレモニーの中止を受け、「18thJAPAN YARN FAIR & 総合展『THE 尾州』ビデオメッセージ」と題し、長坂康正経済産業副大臣兼内閣府副大臣（国際博覧会担当）衆議院議員と大村秀章愛知県知事の激励メッセージと中野正康FDC理事長・一宮市長の主催者挨拶を、展示会場入口にて放映した。

総合展「THE 尾州」は、①ジャパン・テキスタイル・コンテスト（JTC）2020 優秀作品展②翔工房作品展③尾州インパナ塾作品展④ものづくりリレー作品展⑤尾張繊維技術センター研究試作展⑥一宮商工会議所地域資源活用事業紹介コーナー⑦ハローワーク一宮相談コーナーなど、従来からの出展に加え、⑧ANREALAGE（アンリアレイジ）の最新コレクション展示や⑨尾州総合情報ポータルサイト「BISHU-JAPAN.com」紹介ブースなど、一宮市を中心とした尾州地域の多様な情報を来場者に訴求した。①、②、⑧、⑨については、事前に撮影した動画を、展示会場内のモニターで放映するとともに、オンラインサイト「総合展『THE 尾州』ONLINE」にて配信した。

○JY&総合展「THE 尾州」来場者内訳（カッコ内は前回実績）

	ビジネス目的来場者					一般市民・学生来場者			総合計
	テキスタイル	商社	アパレル	その他	計	一般	学生	計	
初日	145 (339)	130 (280)	27 (56)	178 (527)	480 (1,202)	82 (204)	17 (23)	99 (227)	579 (1,429)
2日目	153 (449)	115 (320)	36 (90)	155 (405)	459 (1,264)	30 (224)	9 (310)	39 (534)	498 (1,798)
3日目	153 (459)	129 (327)	45 (101)	191 (441)	518 (1,328)	50 (255)	22 (555)	72 (810)	590 (2,138)
合計	451 (1,247)	374 (927)	108 (247)	524 (1,373)	1457 (3,794)	162 (683)	48 (888)	210 (1,571)	1667 (5,365)

※「その他」は、繊維関連企業・他業種企業・団体・行政関係者含む

【JY&総合展「THE 尾州」の様子】

○主な感染予防対策

- ・ 来場者全員に検温実施
- ・ QR コードを印刷したDMによる受付名刺
- ・ 名刺ホルダーの使い回し禁止
- ・ 消毒液の各所配置と換気の徹底
- ・ JY 出展企業ブース脇に各社バックヤードを設け、利便性と 3 密防止を図る
- ・ 受付カウンターや商談用テーブルに衝立設置



サーマルカメラ（検温器）



ビジネス目的来場者受付



一般・学生来場者受付



ヤーン・フェア会場入口

○ヤーン・フェア会場の様子



ヤーン・フェアを視察する大村知事（写真中央）



ヤーン・フェア会場

○JTC2020 優秀作品展の概要

一般の部 19 点、学生の部 16 点を展示したほか、応募者の許可を得た作品をハンガー（154 点）にして展示し、ビジネスマッチングを図った。また、（一社）日本アパレル・ファッション産業協会（JAFIC）の協力により、グランプリ等の受賞作品を元にクリエイター3名が製作した衣装3点も展示した。来場者からは「サステイナブルの流れに沿った受賞作品が増えた」「広い産地からの応募になっている」といった声が上がった。



JTC2020 優秀作品展の様子

○特別企画



ANREALAGE 最新コレクション展示



「BISHU-JAPAN.com」PR ブース

○FDC 人材育成事業



尾州インパナ塾作品展



翔工房常設展示

<本資料のお問い合わせ>

（公財）一宮地場産業ファッションデザインセンター

事務局長：古田

電話：0586-46-1361

内線：7945